

転倒は
どれくらい
起こっている!?

高齢者の年間転倒発生率

- 全国の自宅生活の高齢者 約30%
 - ピンシャン体操クラブ参加者
(PTCアンケート回答者) 約36%
- (※令和4年度PTCアンケート結果より)

まずはあなたの転倒危険度をチェックしましょう。

転倒危険度チェック表	
<input type="checkbox"/> 過去1年に転んだことはありますか？	(5点)
<input type="checkbox"/> 歩く速度が遅くなったと思いますか？	(2点)
<input type="checkbox"/> 杖を使っていますか？	(2点)
<input type="checkbox"/> 背中が丸くなってきましたか？	(2点)
<input type="checkbox"/> 毎日5種類以上薬を飲んでいますか？	(2点)
6点を超えると、転倒危険度が高くなります。	合計 _____点

転倒したことがあると転倒率は3.8倍になり、再転倒は非常に起こりやすいと報告されています。

引用：鈴木隆雄(2003).転倒の疫学 日本老年医学会雑誌,40巻2号

転倒は寝たきりの原因に！

転倒による骨折で、寝たきりになったり、あるいは再び転倒することへの恐怖感で、閉じこもりがちになったりすることがあります。転倒を防ぐことは、人生の質を維持する上でとても大切なことです。

からだの問題

転びやすさ

転倒

骨粗しょう症

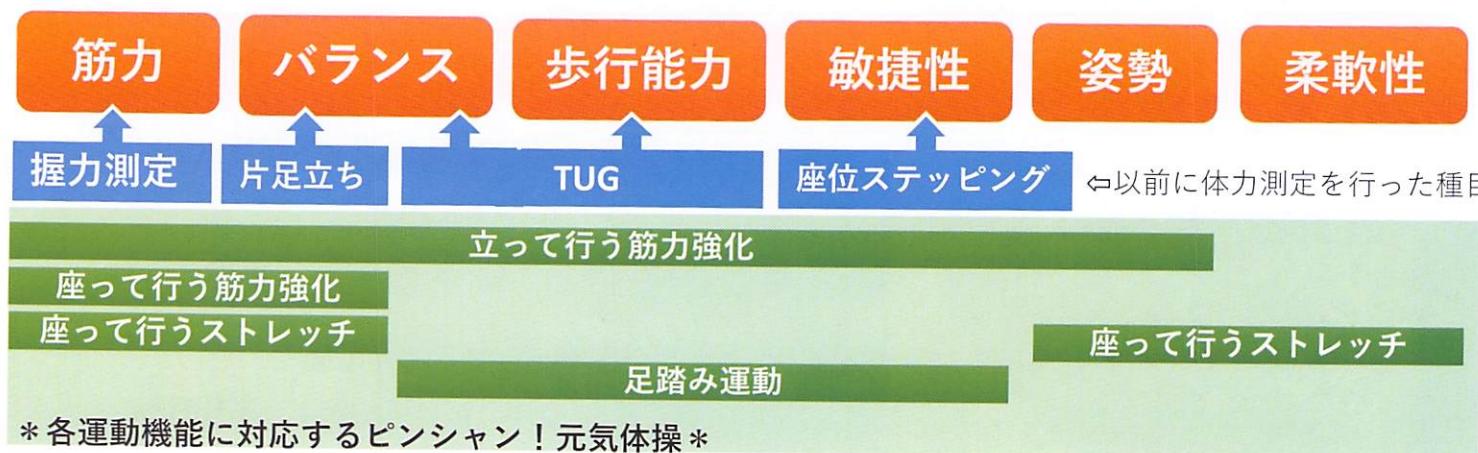
骨折

寝たきり
要介護状態

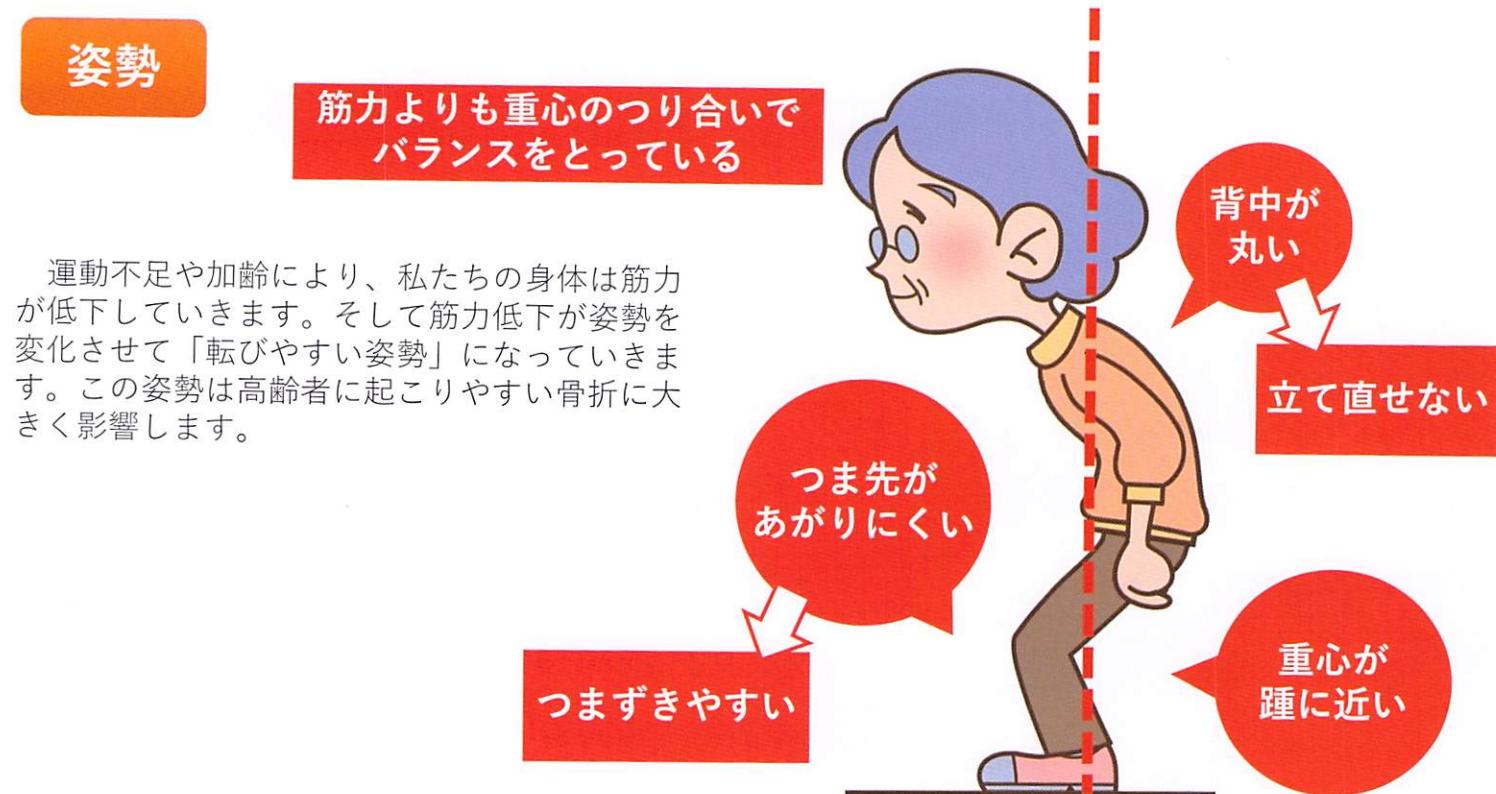
環境の問題

転倒恐怖感

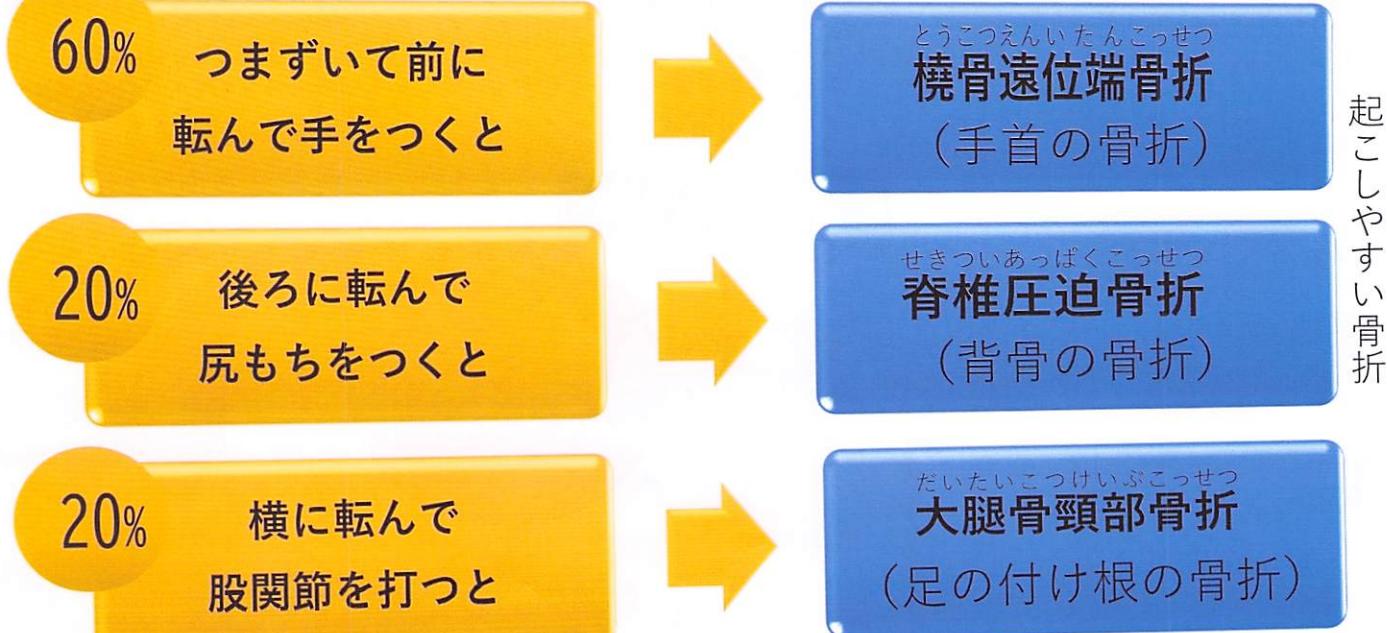
閉じこもり
廃用症候群



ピンシャン！元気体操をまんべんなく行う事で、転倒の対策になります。また、自分の苦手な所を確認し、重点的に行う事も可能です。後半に、ピンシャンに「チョイ足し運動」も紹介しています。



転倒方向割合





引用：東京都生活文化スポーツ局 高齢者の家庭内事故防止見守りガイドヒヤリハットレポートNo.14



骨粗鬆症を 知る

骨粗鬆症は、骨がもろくなって骨折しやすくなってしまう病気です。わずかな衝撃で骨折を起こしてしまうことがあります。

骨粗鬆症の人はどのくらいいるか

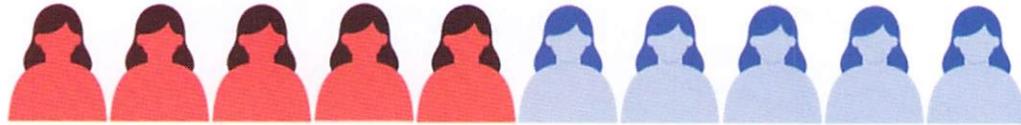
60代女性：31.8%

3人に1人



70代↑女性：49.6%

2人に1人



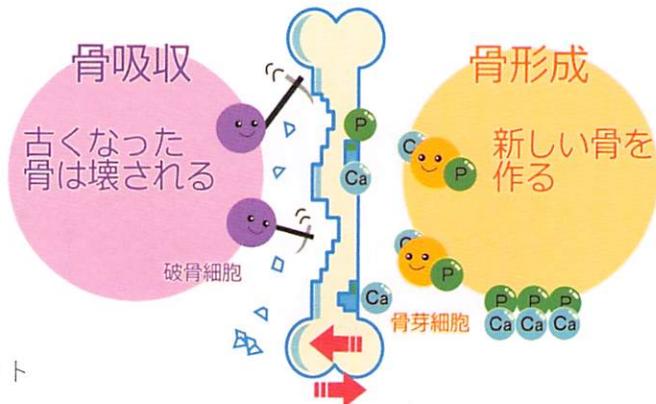
「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版」（一般社団法人骨粗鬆症学会）
骨密度70%未満の年代別症例数（総務省人口推計より推定：東京都健康長寿医療センター千葉優子）

骨粗鬆症の原因は

骨は、常に古いものを壊し、新しいものを作ることを繰り返しています(骨リモデリング)。このバランスが崩れ、壊される量のほうが作られる量よりも多くなった場合に、骨密度が低下し、骨粗鬆症になると考えられています。

骨リモデリングのバランスが崩れ、骨粗鬆症になる原因是、加齢による女性ホルモンの減少が一番多く、他に生活習慣や運動不足などがあります。また、他の疾患が原因となることもあります。

参考：公益財団法人長寿科学振興財団 健康長寿ネット



骨粗鬆症の骨折が起こると

□骨粗鬆症の骨折は、生活機能や生活の質を引き下げます。

背骨の骨折は「重い物を持ち上げる・1時間以上硬い椅子に座る・高い棚の物をとる」などが困難になる可能性が高くなります。また太ももの付け根の骨折をすると、1年後に半分近くの人が歩くことが困難になり、お風呂に介助が必要になると言われています。

Fukui N.et al.;J Orthop Trauma 26(3):2012

□骨粗鬆症の骨折は、繰り返し易いため骨折予防が大切。

骨折すると次の背骨の骨折をする危険性が5倍に、足の付け根の骨折は、反対側を骨折する危険性が初めての骨折より6～9倍にもなります。



骨密度を 知る

前橋市

対象：40歳45歳50歳55歳60歳65歳70歳の女性

骨粗鬆症検診

骨密度を測定し、自分の骨の状況を知りましょう。

電話 (027)220-5784 前橋市健康増進課

対象年齢以外の方で、骨密度を知りたい方は、整形外科のある医療施設に電話相談後、受診しましょう。

骨粗鬆症は無症状

60代以降、加齢・閉経などが原因となって骨量（骨密度）は年々減少していきます。そのためまずは骨を検査して骨の状態を把握し、対策をすることが必要です。



対策を 知る

骨を強くするコツコツ栄養

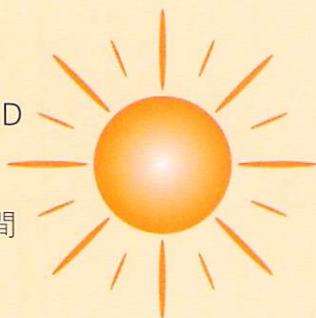


大人気
の栄養の
動画です。



日光浴

紫外線でもビタミンD
が合成されます。
夏なら木陰で30分、
冬なら手や顔に1時間
程度。



栄養

一日3食食べること（P8参照）
カルシウム、ビタミンD、タンパク質などの
栄養素を適量に摂取する。

運動



転倒予防と骨密度上昇
効果があります。
転倒予防には、複合的な
プログラム、骨密度上昇
には、荷重下での適度な
衝撃が有効とされています。

まずは、
転倒しやすい状態を評価
し、運動と生活環境の
整備を行う。
前半の転倒予防のページ
を参考に。

くすり

おくすりの種類は、

- ①骨の吸収（骨が溶ける）を抑える薬、
- ②骨の形成（骨をつくる）を助ける薬、
- ③骨の栄養素となる薬

があります。薬は錠剤と注射の二種類があります。
骨の状態によって最適な薬を選び、こつこつと
治療を継続するがもっとも大切です。

治療が必要か
どうかは、
整形外科の
医療機関に
相談しましょう。

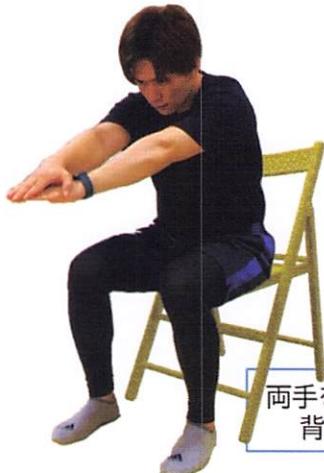


筋力強化を中心に、バランス練習や有酸素運動を組み合せる

「ピンシャン！元気体操」を続けることが大切（週二回以上）さらに、安全に配慮したバランス練習、ウォーキングなどの有酸素運動を組み合わせることで、転倒予防効果があります。

猫背対策が転びにくい姿勢の第一歩

10回×2 1日3度



- ①両足をしっかりと床につけて。
- ②1セットを5秒かけてゆっくり呼吸をしながら繰り返します。

肘を引いて、胸を突き出す。
手のひらが上に向くよう意識



両手をめいっぱい伸ばす。
背中を丸めるように。



地面につく足ゆびの動きは、超重要

足でのバランス機能を良くすることで、歩行能力を向上させます。



それぞれ左右2分



足ゆび開きストレッチ

足指の間に手の指を深く入れ、足の指を上下へ動かし、足の裏と甲をしっかり伸ばす。ゆっくり回すのも良い。

タオルつかみ

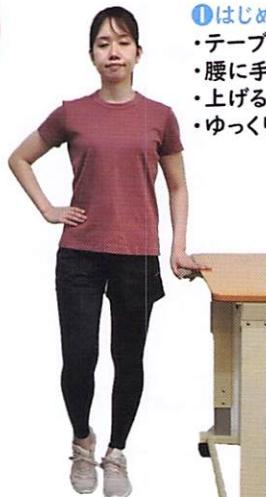
タオルを足の指で、たぐり寄せる
踵でタオルを押さえ、指の曲げ伸ばしだけで
タオルを引き寄せましょう

ダイナミックフラミンゴ 片足バランス



左右1分3回

安全配慮必須
不安な方は、手すりから始めます。



①はじめの姿勢

- ・テーブルなどに触れる
- ・腰に手を当てる
- ・上げる足はつま先立ち
- ・ゆっくりと上げる



②

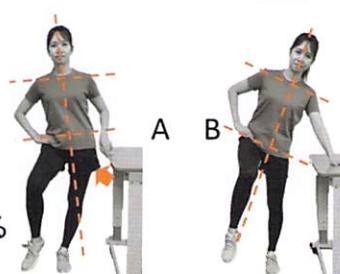
- ・手に頼りすぎない
触れる程度
- ・親ゆびで支える
- ・支え足のお尻を伸ばす



バランスに自信がついたら
美しく立つことを意識する

間違い

- A お尻が横に飛び出す
B 体が横に倒れ、手に頼る



解決

- ・親ゆびに力を乗せる
- ・鏡をみて姿勢をなおす
- ・前の一点を見つめる